

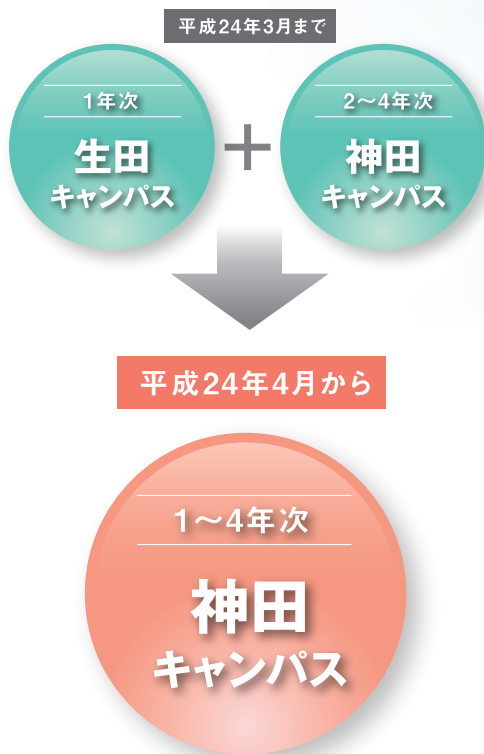
2011、創立132年

平成24年4月

法学部の全学年が 都心のキャンパスへ。

法学部(法律学科・政治学科)の全ての授業を
神田キャンパス(東京都千代田区)で開講

専修大学では、法学部の全授業を
神田キャンパスで展開することになりました。
法学部の学生は、これまで1年次は生田キャンパスに、
2年次からは神田キャンパスに通学することになっていましたが、
平成24年度から同学部の全学年の学生が、
神田キャンパスで授業を受けることになります。
今回の取り組みにより、導入教育の充実とともに、
法学教育機能の集約と教育環境の一層の充実が
期待できます。



社会知性の開発をめざす
専修大学

より質の高い法学、政治学教育をめざして、 新しい法学部が始動します。

POINT
1

1年次導入教育のさらなる充実

1年次から4年次まで同一キャンパスで授業を開講することになったことから、導入教育はもちろんのこと、教育環境がさらに充実したものになります。



POINT
2

法学教育が神田キャンパスに集結

法学部、大学院法学研究科、専門職大学院（法科大学院）という、一連の法学教育がすべて神田キャンパスに集約されることとなります。



POINT
3

経済的負担軽減

地方出身の学生にとって、途中の学年で転居をする必要性が低くなることで、経済的負担の軽減にもつながります。



POINT
4

ふさわしい環境で 法律や政治を学ぶ

神田キャンパスは地下鉄神保町または九段下駅から3分、JR水道橋駅から7分の好立地で、神保町は古くから本の街、学生の街として知られています。そして、最高裁判所や霞ヶ関官庁街、国会議事堂などにアクセスしやすい場所に位置していることも、法律や政治を学ぶ上で、ふさわしい環境であるといえます。

